

令和 7 年度入学者選抜試験

学校推薦型選抜問題

小論文 (120 分)

(建築学科)

注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、8 ページあります。
- 3 解答用紙は 3 枚、下書き用紙は 3 枚あります。解答用紙には解答欄以外に受験番号欄と氏名欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。
ただし、得点欄と整理番号欄は記入してはいけません。
なお、解答は最初のひとマスを開けず、改行せずに続けて記入しなさい。
また、行末以外は句読点も 1 文字分として当てなさい。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、ページを破いたり、取り外したりしてはいけません。
- 6 試験終了後、下書き用紙及び問題冊子は持ち帰りなさい。

問題 1 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(著) リチャード・セネット
『クラフツマン 作ることは考えることである』
筑摩書房、2016年7月26日
79～81頁を引用

著作権の観点から、公表していません。

(リチャード・セネット (高橋勇夫訳)『クラフツマン 作ることは考えることである』2016年 (原著 2008年)、より)

※本文は原文のままである。ただし、引用に関する注釈を省略した。

設問 1 下線部①「建築用のスケッチはしばしば可能性の像である」とはどのような意味か? 150字以内で説明しなさい。(25点)

設問 2 下線部②に関連して、「コンピュータは答えを理解していても、君たちの方は答えを理解していない」ということに該当する自らの経験について 300字以内で説明しなさい。なお、「コンピュータ」には、さまざまな IT 関連技術や AI 関連技術およびそれらを搭載した各種デバイス、個々のソフトウェアやアプリケーションが広く含まれるものとする。(40点)

問題 2 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室 監修
宮廻（さこ）正明、荒井経、鴈野佳世子 編著
『日本画名作から読み解く技法の謎』
世界文化社、2014年11月5日
148～149頁を引用

著作権の観点から、公表していません。

(東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室監修／宮廻正明、荒井経、鴈野佳世子編著『日本画名作から読み解く技法の謎』2014年、より)

※本文は原文のままである。ただし、常用漢字表にない漢字には読み仮名を附した。

設問 1 下線部①「安易な復元イメージ」とは、筆者はどういった復元のことを指しているのかを、あなたの考えも交えて150字以内で述べなさい。(25点)

設問 2 本文の内容をふまえ、建築の再建や修復について、あなたの考えを300字以内で述べなさい。(40点)

問題 3 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

榎 文彦、若月幸敏、大野秀敏、高谷時彦／共著
『見えがくれする都市』
鹿島出版会、1980年6月20日
205～209頁を引用

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(槇文彦 他『見えがくれする都市』1980年、より)

注釈

¹本文中の別の箇所では使われている町家と同じ語意である（解答用紙にこの用語を記入する場合は、どちらの漢字を用いても構わない）。

²宇佐見英治（1918－2002）＝詩人、美術評論家、フランス文学者。槇文彦は、「奥の存在を日本の空間の中に発見し、論評した最初のもの一つ」として宇佐見英治『迷路の奥』1975年を挙げ、その中で宇佐見が「観光地や温泉場の、外観はさほどでないが内部に入ると広い旅館の屈折する廊下がつくり出す迷路的な空間の演出の中から「奥性」を見出し」ていることを紹介している。

※本文は原文のままである。ただし、原文の一部を省略した。また、常用漢字表にない漢字には読み仮名を附し、本文中にない指示語については注釈で説明した。

設問 1 日本の歴史的な住居の型の中にあらわれる奥について150字以内でまとめなさい。
(25点)

設問 2 下線部①で述べられている「単に空間概念としてだけでなく、集団の深層心理を通して、より抽象的な社会組織の中にまで浸透」しているという現代における奥性について、あなた自身の経験に即して300字以内で説明しなさい。(45点)

